

# 熱中症対策マニュアル

ロジスティック・プランニング・スタッフサービス(株)

【交通警備・施設警備部門用】

#### 1. 目的

高温・多湿な環境下において、警備業務従事者が熱中症を未然に防止し、安全に勤 務できるよう、対策手順と対応方法を明文化する。

#### 2. 適用範囲

- ・常駐・交通誘導・巡回警備業務に従事する全社員・契約社員・アルバイト
- ・各現場の安全衛生管理者および警備管理責任者

#### 3. 熱中症の主な症状と段階

症状レベル	症状例	対応
軽度	めまい、立ちくらみ、大	涼しい場所で休ませ、水
	量の汗、筋肉痛(こむら	分・塩分補給
	返り)	
中等度	頭痛、吐き気、倦怠感、	速やかに冷却、様子を見
	意識がぼんやり	て医療機関へ
重度	意識混濁、けいれん、返	直ちに 119 番通報、救急
	答が曖昧	搬送対応

# 4. 日常的な熱中症予防策

- ◆日常の健康管理
- ・十分な睡眠をとる
- ・バランスの取れた食事
- ・無理のない範囲で体を暑さに慣らす
- ・体調が悪いと感じたらすぐに休憩
- ◆水分・塩分補給
- ・1 時間に1回の水分補給(250ml/h 目安)

- ・スポーツドリンクまたは塩飴を携帯
- ・のどが渇く前にこまめに飲む習慣をつける

#### ◆ 服装・装備

- ・夏季専用の通気性の良い制服・帽子を着用
- ・空調服、吸汗速乾インナー着用
- ・ネッククーラー、冷却タオル、冷却スプレーを活用

#### ◆ 休憩

- ・高温日には1時間あたり5~10分の休憩を確保
- ・必ず日陰・冷房環境のある場所へ移動
- ・クールオアシス(府・市町村・民間施設・民間店舗)
- ・衣服の緩和・冷却グッズの活用

### 5. 現場管理者の義務

- ・毎朝の気温・WBGT指数の確認、熱中症警戒アラートの活用
- ・警備員の健康状態・服薬・前日の体調不良者のチェック
- ・備品(ドリンク、冷却用品)の在庫確認と補充
- ・体調が悪い者の業務中止および帰宅対応
- ・万一の際の緊急連絡体制の確認

#### 6. 熱中症発生時の対応フロー

- 1. 異常を訴えた場合、すぐに日陰または涼しい場所に避難)
- 現場監督・現場責任者へ報告
  ロジプラ 大阪事業所(TEL:06-6131-0166)に報告・記録(報告書提出)
- 3. 衣服を緩め、首・脇・足の付け根を冷却
- 4. 水分・塩分補給(意識がある場合)
- 5. 意識障害や嘔吐がある場合は 119 番通報・救急搬送

# 7. 持参・常備すべき備品

- スポーツドリンク/塩飴
- ・凍らせたペットボトル/保冷剤

- ・冷却スプレー/冷却タオル/タオル
- ・健康チェック表
- ・熱中症対応マニュアル(印刷配布)

## 8. 教育・訓練

- ・毎年5~6月に熱中症対策の社内研修を実施
- ・配属前研修で熱中症のリスクと対応方法を周知

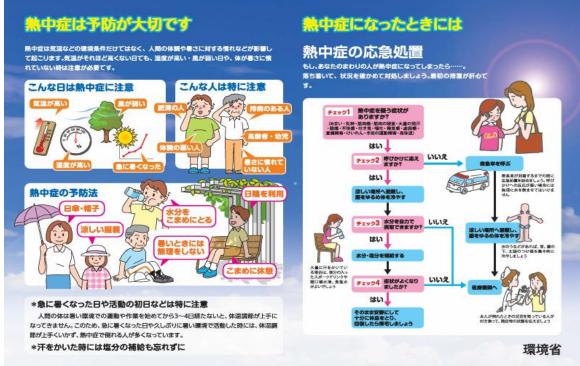
#### 9. 特記事項

- ・熱中症の発生には体調や健康状態が影響する 体調が悪い時や体温調節機能が弱っているときは、いつもより熱中症の危険が高 まる
- ・交通誘導警備の場合、アスファルト上での直射日光により輻射熱が強く、 熱中症リスクが高い
- ・施設警備の場合、空調の効いた建物から屋外巡回へ出た際に急激な温度差で 体温調整が乱れる、また冷房の効いており「のどの渇き」に気づかない事がある
- ・高齢者・持病のある方・新任者は特に配慮する
- ・日々の声かけと連携が事故防止の鍵

## 10. 最後に

熱中症は「正しい知識」と「事前の準備」で防げます。命に関わるリスクを軽視せず、全員で声をかけ合い、安全な職場を守りましょう





熱中症の詳しい情報については、熱中症予防情報サイトをご覧ください 環境省熱中症予防情報サイト: https://www.wbgt.env.go.jp

